

令和元年度 事業報告書

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

公益財団法人 溶接接合工学振興会

令和元年度 事業報告書

I. 溶接接合研究者・技術者の顕彰および育成事業

- (1) 第27回 総会（木原賞・金澤賞授与式・受賞者プレゼン・特別講演）
令和元年5月15日（水）14:00～18:30 溶接会館 2F ホール
授与式・受賞者プレゼンテーション・特別講演 2F ホール
交流会 10F 特別ホール
- (2) 平成30年度 木原賞及び副賞（30万円）の授与式
野木理事長より、審査経過報告の後、以下の2名に木原賞及び副賞が授与された。
・宮城 雅徳 氏 (株)日立製作所 研究開発グループ材料イノベーションセンタ
先端材料プロセス研究部 主任研究員
・迎井 直樹 氏 (株)神戸製鋼所 溶接事業部門 技術センター 主任研究員
- (3) 平成30年度 金澤賞及び副賞（10万円）の授与式
宮田審査委員長より、審査経過報告の後、以下の2名に金澤賞及び副賞が授与された。
・宮崎 克雅 氏 (株)日立製作所 研究開発グループ材料イノベーションセンタ
主管研究長
・坪田 秀峰 氏 三菱重工業(株) 総合研究所 製造研究部製造技術第一研究室 室長
- (4) 佐々木賞の授与（副賞）
・島貫 広志 氏 新日鐵住金(株) 鉄鋼研究所 厚板・形鋼研究部 主任研究員
- (5) 特別講演会 【地球観測衛星「しずく」の開発と利用】
国立研究法人 宇宙航空研究開発機構 理事補佐 中川 敬三 様

II. 溶接接合研究者・技術者の交流会事業

- (1) 第30回 技術セミナー
日 時：令和元年11月6日（水）13:00～18:30
場 所：溶接会館 2F ホール
テーマ：DX: Digital Transformation による溶接・接合技術革新とマネジメント革新
司 会：東京大学人工物工学研究センター 教授 青山 和浩 氏
開会挨拶：(公財) 溶接接合工学振興会 理事長 野本 敏治 氏
講 演：① 人・機械の協調技術としての DX と革新的製造環境の構築に向けて
国立研究法人 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域・人工知能研究セン
ター 谷川 民生 氏
② スマート工場基盤「KOM-MICS」における DX による製造革新の現況
コマツ 生産技術開発センター 浅田 毅 氏
③ 溶接技術、溶接プロセスを革新するデジタル・トランスフォーメーション
パナソニック(株)CNS 社 廣田 幸伯 氏
④ 製造業をプロセス革新、ビジネス革新するデジタル・トランスフォーメーシ
ョン 富士通(株) 次世代営業本部 熊谷 博之 氏
- (2) 交流会：溶接会館 10階 特別ホール

Ⅲ. 工業高等学校等への溶接機材助成事業

令和元年度は、溶接界の喫緊課題となっている将来を担う人材の育成を積極的に実施すべく、「溶接接合に係る若年者の教育活動支援」事業を新たに行うことを理事会及び評議員会で決定した。これを受けて、現行の定款変更及び全国の工業高等学校等を対象とした溶接機材助成事業認定を内閣府へ申請し、令和2年2月内閣府の事業認定が下り、具体的事業を実施できる体制を整備した。

Ⅳ. 理事会・評議員会等、各委員会活動

(1) 理事会

第1回 理事会 令和元年5月15日(水) 13:30~14:30 溶接会館 5階5B会議室

臨時理事会 令和元年10月18日(金) 書面審査(定款第35条 みなし決議)

第2回 理事会 令和2年3月6日(金) 書面審査(定款第35条 みなし決議)

(2) 評議員会

定時評議員会 令和元年5月29日(木) 13:00~14:30 秋葉原駅前 第7東ビル会議室

臨時評議員会 令和元年11月6日(水) 11:00~12:00 溶接会館 4階4B会議室

(3) 審議員会

第1回 審議員会 令和元年5月15日(水) 13:30~14:30 溶接会館 5階5B会議室

(4) 審査委員会

① 木原賞 審査委員会 令和2年1月27日(月) 10:15~12:15 溶接会館 5階5A

② 金澤賞 審査委員会 令和2年1月27日(月) 13:15~15:15 溶接会館 5階5A

③ 佐々木賞 審査委員会 令和元年2月28日(金) 9:00~10:00 溶接学会(合同審査)
佐々木賞 副賞の授与(5万円)

(5) 企画委員会

① 第1回 委員会 令和元年4月17日(水) 13:00~14:00 学術総合センター 会議室

② 第2回 委員会 令和元年7月18日(木) 10:00~14:00 東大工学部3号館 会議室

③ 第3回 委員会 令和元年9月17日(火) 13:00~14:15 東北大工学部 会議室

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	1,009,490	325,085	684,405
流動資産合計	1,009,490	325,085	684,405
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
記念日行事開発準備預金	0	476,687	△ 476,687
表彰開発準備積立預金	9,274	1,817,175	△ 1,807,901
溶接技術開発セミナー準備預金	0	1,726,316	△ 1,726,316
教育支援準備預金	19,032,573	0	19,032,573
特定資産合計	19,041,847	4,020,178	15,021,669
固定資産合計	69,041,847	54,020,178	15,021,669
資産合計	70,051,337	54,345,263	15,706,074
II. 負債の部			
流動負債			
未払金	120,000	0	120,000
預り金	16,320	34,687	△ 18,367
流動負債合計	136,320	34,687	101,633
負債合計	136,320	34,687	101,633
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	19,032,573	0	19,032,573
指定正味財産合計	19,032,573	0	19,032,573
(うち特定資産への充当額)	(19,032,573)	(0)	△ 20,000,000
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(9,274)	(4,020,178)	(△4,010,904)
正味財産合計	69,915,017	54,310,576	15,604,441
負債及び正味財産合計	70,051,337	54,345,263	15,706,074

正味財産増減計算書

令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定財産運用益	135,411	391,601	△ 256,190
受取寄附金			
指定正味財産からの振替額	967,427	0	967,427
賛助会員会費	2,200,000	1,900,000	300,000
セミナー収益	410,000	640,000	△ 230,000
雑収益	141	15	126
経常収益計	3,712,979	2,931,616	781,363
(2) 経常費用			
事業費			
木原賞表彰費	666,666	666,666	0
金澤賞表彰費	222,222	222,222	0
佐々木賞副賞費	50,000	100,000	△ 50,000
功労金	0	1,000,000	△ 1,000,000
セミナー費	479,370	262,111	217,259
教育支援助成費	0	0	0
講演会費	0	424,582	△ 424,582
謝金	156,137	318,000	△ 161,863
会議費	169,421	105,917	63,504
旅費交通費	153,614	258,396	△ 104,782
通信運搬費	47,604	210,633	△ 163,029
人件費	2,363,305	1,700,000	663,305
法定福利費	42,192		42,192
印刷費	20,520	97,003	△ 76,483
賃借料・光熱費	649,999	0	649,999
事務委託費	88,800	0	88,800
消耗品費	66,359	0	66,359
ニュース刊行費	0	32,400	△ 32,400
雑費	29,982	30,240	△ 258
計	5,206,191	5,428,170	△ 221,979
管理費			
人件費	826,835	600,000	226,835
法定福利費	14,824	171,355	△ 156,531
謝金	151,100	165,000	△ 13,900
会議費	134,342	49,496	84,846
旅費交通費	263,826	381,103	△ 117,277
通信運搬費	26,277	103,809	△ 77,532
印刷費	0	29,316	△ 29,316
賃借料・光熱費	228,377	700,062	△ 471,685
事務委託費	31,200	55,000	△ 23,800
消耗品費	22,399	111,332	△ 88,933
為替差損	0	404,468	△ 404,468
雑費	235,740	183,186	52,554

科 目	当年度	前年度	増 減
計	1,934,920	2,954,127	△ 1,019,207
經常費用計	7,141,111	8,382,297	△ 1,241,186
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 3,428,132	△ 5,450,681	2,022,549
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 3,428,132	△ 5,450,681	2,022,549
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,428,132	△ 5,450,681	2,022,549
一般正味財産期首残高	54,310,576	59,761,257	△ 5,450,681
一般正味財産期末残高	50,882,444	54,310,576	△ 3,428,132
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	20,000,000	0	20,000,000
一般正味財産への振替額	△ 967,427	0	△ 967,427
当期指定正味財産増減額	19,032,573	0	19,032,573
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	19,032,573	0	19,032,573
Ⅲ. 正味財産期末残高	69,915,017	54,310,576	15,604,441

正味財産増減計算書内訳表
令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業				法人会計	合 計
	公益1	公益2	公益3	計		
	表彰	セミナー・講演	若年者教育支援			
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0
特定財産運用益	135,411	0	0	135,411	0	135,411
受取寄附金						
指定正味財産からの振替額		0	967,427	967,427	0	967,427
賛助会員会費	520,000	460,000	0	980,000	1,220,000	2,200,000
セミナー収益	0	410,000	0	410,000	0	410,000
雑収益	0	0	0	0	141	141
経常収益計	655,411	870,000	967,427	2,492,838	1,220,141	3,712,979
(2) 経常費用						
事業費						
木原賞表彰費	666,666	0	0	666,666		666,666
金澤賞表彰費	222,222	0	0	222,222		222,222
佐々木賞副賞費	50,000	0	0	50,000		50,000
セミナー費	0	479,370	0	479,370		479,370
教育支援助成費	0	0	0	0		0
謝金	81,137	75,000	0	156,137		156,137
会議費	126,957	42,464	0	169,421		169,421
旅費交通費	63,360	90,254	0	153,614		153,614
通信運搬費	9,979	29,971	7,654	47,604		47,604
人件費	598,327	1,058,987	705,991	2,363,305		2,363,305
法定福利費	10,548	18,986	12,658	42,192		42,192
印刷費	20,520	0	0	20,520		20,520
賃借料・光熱費	162,500	292,499	195,000	649,999		649,999
事務委託費	22,200	39,960	26,640	88,800		88,800
消耗品費	18,549	28,686	19,124	66,359		66,359
雑費	29,082	540	360	29,982		29,982
計	2,082,047	2,156,717	967,427	5,206,191	0	5,206,191
管理費						
人件費				0	826,835	826,835
法定福利費				0	14,824	14,824
謝金				0	151,100	151,100
会議費				0	134,342	134,342
旅費交通費				0	263,826	263,826
通信運搬費				0	26,277	26,277
賃借料・光熱費				0	228,377	228,377
事務委託費				0	31,200	31,200
消耗品費				0	22,399	22,399
雑費				0	235,740	235,740
計	0	0	0	0	1,934,920	1,934,920
経常費用計	2,082,047	2,156,717	967,427	5,206,191	1,934,920	7,141,111
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,426,636	△ 1,286,717	0	△ 2,713,353	△ 714,779	△ 3,428,132
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,426,636	△ 1,286,717	0	△ 2,713,353	△ 714,779	△ 3,428,132
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,426,636	△ 1,286,717	0	△ 2,713,353	△ 714,779	△ 3,428,132
一般正味財産期首残高	0	0	0	0		54,310,576
一般正味財産期末残高	△ 1,426,636	△ 1,286,717	0	△ 2,713,353	△ 714,779	50,882,444
II. 指定正味財産増減の部						
受取寄附金	0	0	20,000,000	20,000,000	0	20,000,000
一般正味財産への振替額	0	0	△ 967,427	△ 967,427	0	△ 967,427
当期指定正味財産増減額	0	0	19,032,573	19,032,573	0	19,032,573
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	19,032,573	19,032,573	0	19,032,573
III. 正味財産期末残高	△ 1,426,636	△ 1,286,717	19,032,573	16,319,220	△ 714,779	69,915,017

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・取得価額によっている。

(2)消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
記念日行事開発準備預金	476,687	0	476,687	0
表彰開発準備積立預金	1,817,175	0	1,807,901	9,274
溶接技術開発センター準備預金	1,726,316	0	1,726,316	0
教育支援準備預金	0	20,000,000	967,427	19,032,573
小計	4,020,178	20,000,000	4,978,331	19,041,847
合計	54,020,178	20,000,000	4,978,331	69,041,847

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定)		(うち負債に対応する額)
		正味財産からの 充当額)	(うち一般 正味財産からの 充当額)	
基本財産				
投資有価証券	50,000,000	0	50,000,000	0
小計	50,000,000	0	50,000,000	0
特定資産				
表彰開発準備積立預金	9,274	0	9,274	0
教育支援準備預金	19,032,573	19,032,573	0	0
小計	19,041,847	19,032,573	9,274	0
合計	69,041,847	19,032,573	50,009,274	0

4. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
外国公社債等			
ムジヨ-ロツパ°ファイナンシヰイ No42605	50,000,000	47,160,000	△ 2,840,000
合計	50,000,000	47,160,000	△ 2,840,000

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
若年者等の人材育成及び就労支援のための費用充当額	967,427
合 計	967,427

6. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項
金融商品の状況に関する注記

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

投資有価証券は、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク、(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。なお、投資有価証券には、リスクが高いものとして、中途解約が著しく制約されていることにより、満期到来までに資金化することが極めて困難な流動性に乏しい債券(仕組債)50,000,000円が含まれている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

該当事項はない。

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金及び預金			
現金	手元保管	運転資金として	0
普通預金		運転資金として	44,350
		運転資金として	964,593
		運転資金として	547
		運転資金として	0
流動資産合計			1,009,490
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	野村證券	
		外国公社債	
		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共有の財源として使用している。	50,000,000
特定資産	表彰開発準備積立預金		
		公益目的保有財産であり、表彰事業に使用している。	9,274
	教育支援準備預金		
		公益目的保有財産であり、教育支援事業に使用している。	19,032,573
固定資産合計			69,041,847
資産合計			70,051,337
(流動負債)			
未払金		基幹システム利用・出納業務委託費用	120,000
預り金	役職員に対するもの	源泉所得税	16,320
固定負債合計			136,320
負債合計			136,320
正味財産			69,915,017

監査報告書

令和元年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度における理事の職務執行に関して監査致しました。その結果について、以下の通り報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、代表理事、業務執行理事等と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席して事業活動状況について報告を受け、必要に応じて説明を求める等、業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施状況を調査しました。さらに、各委員会議事録、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当事業年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表注記等）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討致しました。

2. 監査結果

(1) 事業報告等の監査報告

- ①事業報告書及びその付属書類は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類関係の監査結果

計算書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認めます。

令和2年4月27日

公益財団法人 溶接接合工学振興会

監事 石井宏治

監事 出川定男

